【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公開番号】特開2004-155425(P2004-155425A)
【公開日】平成16年6月3日(2004.6.3)
【年通号数】公開・登録公報2004-021
【出願番号】特願2004-33030(P2004-33030)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ６０Ｔ　7/18
【ＦＩ】
　Ｂ６０Ｔ　7/18

【手続補正書】
【提出日】平成16年11月25日(2004.11.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１つのホイールブレーキ（５３，５３’）にブレーキを掛けることができる自動ブレーキ装置（６）と、電磁波からなる信号（Ｔ２）を受信して制御信号（Ｔ３）を出力する受信装置（７）とを車両（８）に有し、
車両（８）に目標となる走行速度を与えて車両（８）の安全性を向上させるために、受信装置（７）の制御信号（Ｔ３）に基づいて、車両（８）に設定する基準値（ｔ）に基づいて車両（８）の自動ブレーキ装置（６）を作動させ、かつ、
車両（８）の速度が目標となる速度よりも小さいときは自動ブレーキ装置（６）を作動させず、車両（８）の速度が目標となる速度よりも大きいときは自動ブレーキ装置（６）を作動させることを特徴とする車両の自動ブレーキ装置の作動装置。
【請求項２】
電磁波からなる信号（Ｔ２）を発信する発信装置（４）を設けた走行路（２）を走行する車両（８）に適用される車両の自動ブレーキ装置の作動装置であつて、
少なくとも１つのホイールブレーキ（５３，５３’）にブレーキを掛けることができる自動ブレーキ装置（６）と、電磁波からなる信号（Ｔ２）を受信して制御信号（Ｔ３）を出力する受信装置（７）とを車両（８）に有し、
車両（８）に目標となる走行速度を与えて車両（８）の安全性を向上させるために、受信装置（７）の制御信号（Ｔ３）に基づいて、車両（８）に設定する基準値（ｔ）に基づいて車両（８）の自動ブレーキ装置（６）を作動させ、かつ、
車両（８）の速度が目標となる速度よりも小さいときは自動ブレーキ装置（６）を作動させず、車両（８）の速度が目標となる速度よりも大きいときは自動ブレーキ装置（６）を作動させ、目標となる速度になつたなら自動ブレーキ装置（６）の制御を終了させることができることを特徴とする車両の自動ブレーキ装置の作動装置。
【請求項３】
電磁波からなる信号（Ｔ２）を発信する発信装置（４）を走行路（２）に設け、
少なくとも１つのホイールブレーキ（５３，５３’）にブレーキを掛けることができる自動ブレーキ装置（６）と、電磁波からなる信号（Ｔ２）を受信して制御信号（Ｔ３）を出力する受信装置（７）とを有する車両（８）の受信装置（７）に対して発信装置（４）からの信号（Ｔ２）を発信させ、

車両（８）に目標となる走行速度を与えて車両（８）の安全性を向上させるために、受信装置（７）の制御信号（Ｔ３）に基づいて、車両（８）に設定する基準値（ｔ）に基づいて車両（８）の自動ブレーキ装置（６）を作動させ、かつ、
車両（８）の速度が目標となる速度よりも小さいときは自動ブレーキ装置（６）を作動させず、車両（８）の速度が目標となる速度よりも大きいときは自動ブレーキ装置（６）を作動させ、目標となる速度になつたなら自動ブレーキ装置（６）の制御を終了させることができることを特徴とする車両の自動ブレーキ装置の作動装置。
【請求項４】
前記基準値（ｔ）が車両（８）の目標となる速度を示し、読み込んだ基準値（ｔ）と車両（８）の速度とを比較しながら自動ブレーキ装置（６）を作動させることを特徴とする請求項１，２又は３の車両の自動ブレーキ装置の作動装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
請求項１の発明は、少なくとも１つのホイールブレーキ（５３，５３’）にブレーキを掛けることができる自動ブレーキ装置（６）と、電磁波からなる信号（Ｔ２）を受信して制御信号（Ｔ３）を出力する受信装置（７）とを車両（８）に有し、
車両（８）に目標となる走行速度を与えて車両（８）の安全性を向上させるために、受信装置（７）の制御信号（Ｔ３）に基づいて、車両（８）に設定する基準値（ｔ）に基づいて車両（８）の自動ブレーキ装置（６）を作動させ、かつ、
車両（８）の速度が目標となる速度よりも小さいときは自動ブレーキ装置（６）を作動させず、車両（８）の速度が目標となる速度よりも大きいときは自動ブレーキ装置（６）を作動させることを特徴とする車両の自動ブレーキ装置の作動装置である。
請求項２の発明は、電磁波からなる信号（Ｔ２）を発信する発信装置（４）を設けた走行路（２）を走行する車両（８）に適用される車両の自動ブレーキ装置の作動装置であつて、
少なくとも１つのホイールブレーキ（５３，５３’）にブレーキを掛けることができる自動ブレーキ装置（６）と、電磁波からなる信号（Ｔ２）を受信して制御信号（Ｔ３）を出力する受信装置（７）とを車両（８）に有し、
車両（８）に目標となる走行速度を与えて車両（８）の安全性を向上させるために、受信装置（７）の制御信号（Ｔ３）に基づいて、車両（８）に設定する基準値（ｔ）に基づいて車両（８）の自動ブレーキ装置（６）を作動させ、かつ、
車両（８）の速度が目標となる速度よりも小さいときは自動ブレーキ装置（６）を作動させず、車両（８）の速度が目標となる速度よりも大きいときは自動ブレーキ装置（６）を作動させ、目標となる速度になつたなら自動ブレーキ装置（６）の制御を終了させることができることを特徴とする車両の自動ブレーキ装置の作動装置である。
請求項３の発明は、電磁波からなる信号（Ｔ２）を発信する発信装置（４）を走行路（２）に設け、
少なくとも１つのホイールブレーキ（５３，５３’）にブレーキを掛けることができる自動ブレーキ装置（６）と、電磁波からなる信号（Ｔ２）を受信して制御信号（Ｔ３）を出力する受信装置（７）とを有する車両（８）の受信装置（７）に対して発信装置（４）からの信号（Ｔ２）を発信させ、
車両（８）に目標となる走行速度を与えて車両（８）の安全性を向上させるために、受信装置（７）の制御信号（Ｔ３）に基づいて、車両（８）に設定する基準値（ｔ）に基づいて車両（８）の自動ブレーキ装置（６）を作動させ、かつ、
車両（８）の速度が目標となる速度よりも小さいときは自動ブレーキ装置（６）を作動させず、車両（８）の速度が目標となる速度よりも大きいときは自動ブレーキ装置（６）を

作動させ、目標となる速度になつたなら自動ブレーキ装置（６）の制御を終了させることができることを特徴とする車両の自動ブレーキ装置の作動装置である。

請求項４の発明は、前記基準値（ｔ）が車両（８）の目標となる速度を示し、読み込んだ基準値（ｔ）と車両（８）の速度とを比較しながら自動ブレーキ装置（６）を作動させることを特徴とする請求項１，２又は３の車両の自動ブレーキ装置の作動装置である。